

整理番号	1096	製品名	TRUSCO 保冷剤 (強カタイプ)
作成改定日	2016年10月12日	会社名	トラスコ中山株式会社

安全データシート(SDS)

1. 製品等及び会社情報

- 1.1 製品の特定
- ・製品の名称: TRUSCO 保冷剤 (強カタイプ) 350g / 760g
 - ・製品の品番: THZ-350S / THZ-760S
 - ・推奨用途: クーラーボックス用の保冷剤
- 1.2 会社情報
- ・会社名: トラスコ中山株式会社
 - ・住所: 〒105-0004 東京都港区新橋四丁目28-1
 - ・担当部門: 東京本社 商品部 PB品質保証課
 - ・発行連絡先: お客様相談室宛
 - ・電話番号: 0120-509-849
 - ・FAX番号: 0120-509-839

2. 危険有害性の要約

- 2.1 GHS分類
- ・特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露): 区分2 (神経系)
 - ・特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露): 区分1 (全身毒性)
 - ・水性環境有害性(長期間): 区分2

2.2 GHSラベル要素

・シンボル:



・注意喚起語:

危険

・危険有害性情報:

神経系の障害のおそれ
 長期又は反復ばく露による全身毒性の障害
 長期継続的影響によって水生生物に毒性

2.3 注意書き

- ・安全対策: すべての安全注意をよく読み理解するまで取り扱わないこと。
環境への放出を避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・応急措置: 気分が悪い時は医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合は、医師に連絡すること。
- ・保管: 容器を密閉して、涼しく換気の良い所で保管すること。
- ・廃棄: 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

- ・単一製品・混合物の区別: 混合物
- ・含有成分及び含有量:

成分名	含有量 wt%	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.	化管法 No.	毒劇法
水	87~92	7732-18-5	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
塩化アンモニウム	5~10	12125-02-9	1-218	96	該当なし	該当なし
天然系高分子化合物(植物性)	1~3	非公開	非公開	該当なし	該当なし	該当なし
色素	微量	非公開	非公開	該当なし	該当なし	該当なし

- ・化審法: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報公示整理番号
- ・安衛法: 労働安全衛生法(安衛法)第57条の2第1項政令指定物質の政令番号
- ・化管法: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)対象化学物質の政令番号
- ・毒劇法: 毒物及び劇物取締法の別表一(毒物)、別表二(劇物)、別表三(特定毒物)、毒物及び劇物指定令

4. 応急措置

- ・吸入した場合： 直ちに作業を中止し、空気の新鮮な場所に移り、保温とともに安静にすること。気分が回復しない場合は医師の診断を受けること。
- ・皮膚に付着した場合： 多量の水及び石鹼又は皮膚用洗剤を使用して十分に洗い流すこと。皮膚外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、速やかに医師の診断を受けること。
- ・目に入った場合： 直ちに多量の清浄な流水（冷水）で15分以上洗眼し、瞼の裏まで完全に洗うこと。コンタクトレンズを着用し、容易に外せる場合は外してさらに洗浄を続けること。異常がある場合は医師の診断を受けること。
- ・飲み込んだ場合： 水で口の中を洗浄すること。可能であれば、吐き出させて直ちに医師の診断を受けること。意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
- ・予想される急性症状
及び遅発性症状： 情報なし
- ・応急措置をする者の保護 必要に応じて適切な保護具（保護手袋、保護眼鏡）を着用すること。

5. 火災時の措置

- ・使用可能な消火剤： この製品自体は燃焼しない。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行うこと。
- ・使ってはならない消火剤： 特になし
- ・特有の危険有害性： 特になし
- ・特有の消火方法： 特になし
- ・消火を行う者の保護： 必要に応じて適切な保護具（耐熱性着衣、手袋、呼吸マスク）を着用すること。

6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項、必要に応じて適切な保護具（保護手袋、保護眼鏡）を着用すること。
保護具及び緊急時措置：
- ・環境に対する注意事項： 廃棄物は関連法令に基づいて処理すること。
- ・封じ込め及び浄化の方法・機材： 少量の場合、ペーパータオル、布切れ等で拭き取り、その後多量の水で洗い流すこと。多量の場合、回収可能であればポリ缶等の空容器に回収後、多量の水で洗い流すこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い
 - 技術的対策： 凍結した本品を素手で長時間取り扱わないこと。長時間取り扱う場合は耐寒手袋を使用すること。
 - 安全取扱注意事項： 堅い物や鋭利な物にぶつかけたり、落としたりしないこと。
 - 接触回避： 人体には使用しないこと。
 - 衛生対策： 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・保管
 - 安全な保管条件： 容器は密栓し、直射日光の当たる場所や高温になる所、0℃以下になる所を避け、風通しの良い冷暗所で保管すること。
容器の軟化や変形のおそれがあるので、火気や高温物の近くに置かないこと。
 - 安全な包装容器： 製品容器に準じること

8. 暴露防止及び保護措置

- ・許容濃度：

成分	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH
塩化アンモニウム	規定なし	規定なし	10mg/m ³ （ヒューム）
天然系高分子化合物	規定なし	規定なし	規定なし

- ・設備対策： 特になし
- ・保護具： 必要に応じて耐寒手袋を着用する。
必要に応じて保護眼鏡を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

・外観(物理的状态):	液体
・外観(色):	青色
・臭い:	無臭
・pH値(常温):	7.5
・凝固点:	-13
・沸点:	100 °C
・引火点:	なし
・燃焼又は爆発限界の 上限・下限:	データなし
・蒸気圧(20°C):	データなし
・比重(20/20°C):	1.05
・溶解度:	易溶
・自然発火温度:	なし

10. 安定性及び反応性

・反応性・化学安定性:	通常取り扱いにおいて安定
・危険有害反応危険性:	特になし
・避けるべき条件:	特になし
・混触危険物質:	特になし
・危険有害な分解生成物:	特になし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

<塩化アンモニウム100%としての情報> ※NITEの分類結果(2009年版より)

・急性毒性:	経口:ラットLD ₅₀ : 1,650 mg/kg 区分4
・皮膚腐食性/刺激性:	区分外
・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	区分2B
・呼吸器感作性:	分類できない
・皮膚感作性:	区分外
・生殖細胞変異原性:	区分外
・発がん性:	分類できない
・生殖毒性:	分類できない
・標的臓器/全身毒性(単回暴露):	区分2(神経系)
・標的臓器/全身毒性(反復暴露):	区分1(全身毒性)
・吸引性呼吸器有害性:	分類できない

<天然系高分子化合物100%としての情報>

・急性毒性:	経口:ラットLD ₅₀ : 5,000 mg/kg
・皮膚腐食性/刺激性:	パッチテストで異常は認められない
・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	物理的な軽度の刺激を与えるかもしれない
・生殖細胞変異原性:	データなし
・発がん性:	NTP、OSHAの癌原物質にリストアップされていない

12. 環境影響情報

<塩化アンモニウム100%としての情報> ※NITEの分類結果(2009年版より)

・水生環境有害性(急性):	区分3
・水生環境有害性(長期間):	区分1
・オゾン層への有害性:	分類できない

<天然系高分子化合物>

・分解性/残留性:	生分解性である
・蓄積性:	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	残余物を廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託すること。 残余物や洗浄液は直接環境中(河川・湖沼・下水道等)に廃棄してはならない。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上委託すること。
汚染容器及び包装:	使用後の空容器は内容物を完全に除去してから廃棄物処理業者へ委託すること。

14. 輸送上の注意

・国際規制

国連番号： 非該当
品名： 非該当
国連分類： 非該当
容器等級： 非該当
海洋規制情報： 非危険物

・国内規制

陸上輸送： 規制なし
海上輸送： 規制なし
航空輸送： 規制なし
注意事項： 運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を行うこと。

15. 適用法令

・消防法： 非該当
・労働安全衛生法： 名称等を表示し、または通知すべき危険物及び有害物：No.96 塩化アンモニウム
・化学物質管理促進法： 非該当
・毒劇法： 非該当
・その他： 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

16. その他の情報(引用文献等)

JIS Z 7252 GHSに基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)の化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

日本オートケミカル工業会 製品安全データシート作成の指針

国際化学物質安全性カード(ICSC)

※注意

記載の内容は現時点で入手できた資料や情報並びに弊社の測定結果に基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険性・有害性に関して実際の現場での使用結果を保証するものではありません。取り扱う事業者は、この情報を参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。
